

会 議 録

会議の名称	令和4年度第1回名取市子ども・子育て会議
開催日時	令和4年10月12日（水） 午後1時30分～午後3時00分
開催場所	名取市役所 6階第二会議室
次第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>3. 議 第</p> <p>(1) 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について</p> <p>①次世代育成支援の施策の取組状況について</p> <p>②教育・保育の実施状況について</p> <p>③地域子ども・子育て支援事業の実施状況について</p> <p>(2) 子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて</p> <p>(3) 令和5年度の保育施設の定員状況と施設整備について</p> <p>4. 閉 会</p>
会議資料	<p>資料No. 1-1 次世代育成支援の施策について</p> <p>資料No. 1-2 第2期子ども・子育て支援事業計画（次世代育成支援施策）（第4章）進捗状況調査票</p> <p>資料No. 2 教育・保育の実施状況について</p> <p>資料No. 3 地域子ども・子育て支援事業（13事業）の実施状況について</p> <p>資料No. 4 第2期名取市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて</p> <p>資料No. 5 令和4年度実施予定の事業について</p>
公開・非公開の別 （非公開の場合 はその理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	0人
出席委員	東義也会長、三好正和委員、遠藤幸委員、堤浩恵委員、大原美紗委員、清藤ひろみ委員、星香苗委員、佐藤宏郎委員、松川弘委員、齋藤勇介委員、千葉亨委員、荒明聖委員
欠席委員	小山美有紀委員、久米智美委員、小川ゆみ委員
事務局	小畑部長、齋藤課長、今野補佐、郷内係長、佐藤係長、相澤技術主幹、菅原主査

<会議内容>

・開会に先立ち、委員の異動と新しい委員を委嘱したことを説明。

1 開会

2 会長挨拶 東会長

3 議題

(1) 子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

①次世代育成支援の施策の取組状況について

事務局

・資料No. 1-1、No. 1-2を用いて説明。

委員：資料1-2のP.3の検討となった事業で、休日保育事業について実施に至っていない要因はあるのでしょうか。

事務局：休日保育事業につきましては、主に日曜日の利用と考えられますが、実際に日曜日の保育の需要がどの程度あるか把握ができていない状況となりますので、今後調査を含め、実施すべきかどうかについて検討を行いたいと考えております。

委員：中学生海外派遣事業については、円安と新型コロナウイルス感染症の影響もあり、今年度の実施が検討となっているところかと思えます。中学生当時に海外派遣された生徒の一人が国際交流にあたっての学びを活かし、現在も閑上太鼓のリーダーとして活躍していたりと、地域文化の担い手となっている例もあります。ぜひ継続実施の方向で検討いただきたいと考えます。

委員：こどもの貧困計画の策定についての見通しについて伺います。

事務局：こども貧困計画については、次期子ども・子育て支援事業計画と併せて策定を行うことを検討しており、スケジュールとしては、令和5年度に調査を実施、令和6年度に計画策定を行い、令和7年度から計画に基づく事業実施を予定しております。

(1) ②教育・保育の実施状況について

事務局

・資料No. 2を用いて説明。

委員：1～2歳児や、3～5歳児の年齢人口は減少傾向ですが、0歳児の年齢人口について

は令和4年度は増加しています。どのように分析していますか。

事務局：0歳児の年齢人口については、令和3年度に大きく減少し、令和4年度に若干回復した状況になっておりますが、コロナウイルス感染症による影響があり、増減したものと考えていますが、全体の傾向としては、右肩下がりの傾向にあるものと捉えております。

(1) ③地域子ども・子育て支援事業（13事業）の実施状況について 事務局  
・資料No.3を用いて説明。

委員：(2)地域子育て支援拠点事業について。愛島地区で親子遊び教室を主宰しているが、教室には市内の他地区からも参加いただいております、参加者より子育てに関しての相談もよく受けています。その中で、同じ環境の親同士で相談ができるような機会が欲しい、であるとか、そもそも相談できる機関を知らないといった声があるため、子育て相談の受け皿である子育て支援拠点など、子育てをサポートする機関の情報発信を積極的に行っていただきたいと思っております。

事務局：地域子育て支援拠点は市内に6拠点あり、拠点においては子育てに関する相談受付や、同世代の子を持つ親同士をつなぐようなイベントも開催しております。また、子育て支援拠点の巡回支援事業の実施についても、現在検討を行っております。子育て支援拠点がさらに利用がしやすくなるよう、情報発信に努めて参ります。

委員：各小学校区に配置されている児童センターでは、0～18歳までの子どもへの支援を行うことができます。6つの支援拠点を中心としながら、児童センターの機能の強化を行うことも、地域の相談体制の確保という観点では有効と考えます。

委員：資料2ページの(6)一時預かり事業について、令和3年度よりリフレッシュでの利用が開始されたということですが、リフレッシュでの利用は敷居が高い印象を持っています。名取市での一時預かりの利用の全体に対して占めるリフレッシュでの利用の割合を伺います。

事務局：全体に対するリフレッシュ利用の割合は捉えておりませんが、一時預かり事業の幼稚園在園児以外については私立園2園と公立の名取が丘保育所の計3園で実施しております、うち名取が丘保育所の令和3年度の一時的預かり事業の利用状況につきましては、全体が385件のうち、25件がリフレッシュでの利用と捉えております。

委員：一時預かりのリフレッシュでの利用が浸透しにくいことについても、情報発信の強化が必要と考えます。妊産婦検診などの機会を捉えて積極的に情報発信することが有効と考えます。

事務局 : 今後、有効な情報発信手段について検討して参ります。

委員 : 資料3ページの(9)放課後児童健全育成事業について、児童センターの面積が不足する場合には学校施設の借用とありますが、学校については市の財産ということで、今後とも学校教育課との連携のもと、子どもが安全で快適に利用できるよう調整を行っていくべきと考えます。

事務局 : 現在、日常的に学校施設を借りている児童センターについては、愛島児童センター、下増田児童センターになります。また、夏休み、冬休みなどの長期休業の際は、状況に応じて各児童センターで学校施設の借用を行いながら運営を行っております。今後とも、教育部門との連携を行いながら運営して参りたいと考えております。

(2) 子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直しについて  
・資料No. 4を用いて説明。 事務局

(3) 令和5年度の保育施設の定員状況と施設整備について  
・資料No. 5を用いて説明。 事務局

4. 閉 会 東会長